

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	適正処理対策室
	施策	不法投棄の防止		電話番号	087-839-2370
	基本事業	協働・連携による不法投棄防止		事業実施主体	自治会、婦人会等
	事務事業	高松ふれあいクリーン事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	広く市民、企業やボランティア及び行政が連携して、あじ水ぎわ、高松・三木、塩江、高松エアポート、むれ・あじ源平の里、屋島、国分寺クリーン作戦など市内各所で環境美化活動を行うことにより、清潔で美しい高松を実現するとともに、環境意識の高揚を図る。
-------	--

30年度概要	市内数地区での「不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦」の実施 「瀬戸・高松広域連携中枢都市圏」事業での事業拡充
--------	--

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------

【事業の目的】

対象(何を)	高松市内全域
意図(どのような状態にしたいか)	不法投棄ごみの、市民によるボランティア清掃活動を推進し、不法投棄は犯罪である「地域の環境は、地域で守る」という市民の環境美化意識の高揚を図ることによって、清潔で美しい高松を実現する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦参加コミュニティ協議会	地区		8	7	8	8
不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦ごみ回収量	t/年		19.6	20	16	16

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
不法投棄撲滅ふれあいクリーン作戦参加者数	人	目標値		6,600	7,000	7,200	7,200
		実績値		6,800	5,520		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) クリーン作戦の参加者数については、昨年よりクリーン作戦の件数が1件少なくなったことにより参加者が減少したこと、屋島クリーン大作戦において、市道が崩れ通行止めとなったことから清掃箇所が減少し、地元からの参加者を意図的に減らしたことにより参加者が減少した。 (目標達成度)			(達成度) 78.9% 27点				
不法投棄苦情処理件数	件	目標値		130	128	125	125
		実績値		123	115		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 不法投棄苦情処理件数について、昨年より若干減少しているが、依然として不法投棄が多く発生しているため、引き続き不法投棄防止に努める必要がある。 (目標達成度)			(達成度) 110.2% 35点				

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	7,762	7,951	7,799	7,807
(事業費)	[円]	85	100	212	220
(職員人件費)	[円]	7,677	7,851	7,587	7,587

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

平成28年度にイノシシに襲われ天げがをした事故があったため、平成29年度は、全てのクリーン作戦に傷害保険を掛け事故があった場合の対策を行った。また、香川県猟友会や高松市農林水産課の協力のもと各クリーン作戦の清掃時間中にパトロールを実施するなどイノシシ対策を行った。年々イノシシ被害が増えていることから引き続きイノシシ対策を行う必要がある。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

各地区の清掃箇所の検討を地元衛生組合、連合自治会と早期に打合せを行う。また、今年度も引き続き傷害保険に加入する。

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	環境局
	政策	環境と共生する持続可能な循環型社会の形成		課(室)名	適正処理対策室
	施策	不法投棄の防止		電話番号	087-839-2370
	基本事業	協働・連携による不法投棄防止		事業実施主体	市
	事務事業	不法投棄防止対策事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	市内全域、特に不法投棄が多く見られる山間地や海岸線などを職員による監視パトロールを実施するほか、不法投棄監視カメラを設置することにより、不法投棄の未然防止に努める。
	さらに、監視エリアの表示看板を立て、不法投棄防止の啓発を行うとともに、不法投棄の行為者の調査・指導を行い、不法投棄されているごみについては、早期撤去に努める。

30年度概要	市内全域における不法投棄防止監視パトロールの実施や特に不法投棄が多く見られる地域には監視カメラを設置する等、不法投棄防止対策の強化を図る。
--------	---

重点取組事業	市長マニフェスト	事務事業の類型
--------	----------	---------

【事業の目的】

対象(何を)	高松市内全域及び不法投棄が見られる地域
意図(どのような状態にしたいか)	不法投棄を防止するとともに、市民の環境美化意識の高揚を図ることによって、清潔で美しい高松を実現する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
不法投棄防止監視パトロール回数	回		137	132	130	130

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標 H30
		不法投棄書類送検件数	件	目標値		20	20	19
			実績値		23	39		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	不法投棄防止監視パトロール回数については、ほぼ前年度並みに実施し、不法投棄防止に努めた。また、不法投棄書類送検件数については、前年よりも大きく増加しており、目標を達成することはできなかった。	(目標達成度)	5.0%					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
		(目標達成度)						

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[円]	39,729	40,015	38,775	38,912
(事業費)	[円]	1,344	760	840	977
(職員人件費)	[円]	38,385	39,255	37,935	37,935

【評価】

評価ランク (A～D)	D	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

不法投棄防止のため、監視パトロールの強化や不法投棄の多い箇所について、監視カメラを設置するなど不法投棄防止対策を実施しているが、不法投棄がなかなか減少しない為、根気よく継続していく必要がある。
--

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

不法投棄対策については、環境省が作成した罰則を強調した抑止型の看板と市適正処理対策室が作成した対応型の2種類の看板を、設置者の要望や意向、また、景観にも配慮しながら、より効果的な看板を設置するなど柔軟に対応していく。また、今年度以降も、不法投棄防止監視カメラを効果的な場所に設置を行う。
---